

2022年夏のスヴァールバル 記録的な暖かさに



ノルウェー本土と北極の中間に位置する北極圏の群島、スヴァールバル諸島の夏は、記録的気温が新たな常識となりつつある。20世紀を通じて、ほとんどの夏で摂氏4度前後の安定した気温が観測されていた。変化が生じたのは1990年頃である。ノルウェー気象研究所によると、1991年から2020年のスヴァールバル空港の平均気温は5.5度で、ここ10年の平均は6.4度であった。2022年夏の平均はさらに高くなり、群島の主要な居住地であるロングイヤービエンの数キロ西にある空港では、6、7、8月は7.4度であった。これは、2020年の前回記録より0.2度高い。

記事参照：Summer 2022 was warmest on record for Svalbard - ArcticToday (2022.9.6/Arctic Today)

気候変動が北極圏の水銀濃度の急激な上昇を引き起こす



北極評議会の環境モニタリンググループが発表した包括的な報告書によると、氷が解け永久凍土が解けるにつれて、北極圏の水銀レベルが上昇し、北極圏の人々と生態系に深刻な影響を与える可能性が高い。

記事参照：Climate change is driving a sharp increase in Arctic mercury levels, a new report says - ArcticToday (2022.9.7/Arctic Today)



The melting Sermeq glacier, located around 80 kilometers south of Nuuk, is photographed in this aerial over Greenland on September 11, 2021. (Hannibal Hanschke / Reuters File Photo)

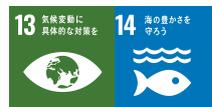
北極圏評議会 6ヶ月の休止を経て、新たな道筋を模索



米国をはじめとするロシア以外の加盟国によって、北極評議会の活動が停止させられてから半年が経とうとしている。北極協力の最も重要な場、つまり北極協力の中心的な要素そのものが初めて機能停止に陥ったのである。ウクライナ紛争が収束の兆しを見せない今、私たちは今どこにいて、北極圏の国際関係の将来の道筋はどうあるべきかを考える時期に来ているのではないか。

記事参照：After a 6-month Arctic Council pause, it's time to seek new paths forward - ArcticToday (2022.9.6/Arctic Today)

サンゴの死滅や氷床の崩壊 気候の転換点は予想よりも 近づいている



白化するサンゴ礁は、いつ「帰還不能点」を通過するのだろうか？気温の上昇によってグリーンランド氷床が崩壊し、深刻な海面上昇を引き起こすのはいつだろうか？新しい科学的研究によれば、これらの悩ましいシナリオは予想よりも早く実現する可能性がある。

記事参照：Climate tipping points of coral die-off, ice sheet collapse closer than thought - ArcticToday (2022.9.9/Arctic Today)

北極圏の山火事で炭素が多く放出される理由とは



この夏、アラスカ内陸部では数百の山火事の煙が空を覆い、高温と乾燥の中、史上最速の火災シーズンの幕開けとなった。土地管理局アラスカ消防局によると、ほとんどの火災は数万回の落雷により発生した。8月下旬までに州全体で300万エーカー以上が焼失した。これは平年の約3倍だが、温暖化した世界ではもはや異常ではない。気候変動により北極圏の気温が世界平均を上回る中、山火事が極域に移動し、炎が北方林やツンドラを焼き尽くし、炭素を多く含む有機土壌から大量の温室効果ガスが放出されるようになったのだ。

記事参照：Why Arctic wildfires are releasing more carbon than ever - ArcticToday (2022.9.9/Arctic Today)



A tree burns during a wildfire near the village of Taastaakh in the region of Yakutia, Russia on August 11, 2021. (Alexander Reshetnikov / Reuters File Photo)

台風マーボック アラスカの脆弱な沿岸地域を 重要な時期に襲う



2022年9月17日、台風マーボックの強力な残滓がアラスカ西海岸を襲い、家屋を土台から押し流し、防護柵を引き裂き、コミュニティは浸水した。また、この地域の先住民コミュニティが冬に備えて食料を蓄える秋の自給自足収穫の時期であった。

記事参照：Typhoon Merbok pounded Alaska's vulnerable coastal communities at a critical time - ArcticToday(2022.9.21/Arctic Today)

北極海の海氷最小面積 過去10番目の低さに並ぶ



国立雪氷データセンターの海氷を追跡する科学者の推定によると、北極海の海氷は今月初め、約180万平方マイルとなり、その年の最小面積に達した。これは、衛星の記録が残って以来2022年に並ぶ10番目に低い面積であり、2018年と2017年も同様の最小値を記録している。

記事参照：This year's Arctic sea ice minimum extent is tied for tenth lowest on record - ArcticToday (2022.9.23/Arctic Today)

気候変動は、イヌイットが これまでしてきた「適応」を 意味する



Rex Holwellは、カナダ東部のニューファンドランド・ラブラドル沿岸で毎年冬に形成される海氷の上で人生を過ごしてきた。他のイヌイットと同様、彼は父親や他の男たちからアザラシや魚の捕り方を学んだ。彼らは海氷の上を最初は犬ぞりで、そしてHolwellが同行するようになった頃には、スノーモービルで滑走するようになった。Holwellは、この生活と自由を子供たちに与えたいと考えている。しかし、気候変動がその全てを覆そうとしている。「文化が失われることになる」。温暖化が進み干ばつが長引き、熱波や洪水、嵐が激しくなる中、イヌイットはこれまでと同じように適応しようとしている。

記事参照：Climate change means the Inuit do what they've always done: Adapt - ArcticToday (2022.9.27/Arctic Today)



Serenity Ivany, 14, competes in a snowshoe race during the Easter Games, in Nain, Newfoundland and Labrador, Canada on April 19, 2022. The Easter Games is an annual week-long event held in Nain that brings the community together to participate in a variety of games for adults and children, including skidoo races, target shooting matches, snowshoe races, log-carrying races, among many others. (Melissa Renwick / Reuters)

